

日本のオーガニックの
THINK & DO TUNK と なる
 世界基準
 ジャパンオーガニックブランドを築きます。
**オーガニック
 ヴィレッジジャパン
 設立と活動について**



一般社団法人
**オーガニックヴィレッジジャパン
 OVJ**



- 会長
服部幸應
学校法人 服部学園理事長
服部栄養専門学校 校長
- 理事長
李谷正樹
株式会社純正食品マルシマ
代表取締役
- 幹事
高橋 勉
NPO 法人 日本オーガニック&
ナチュラルフーズ協会 理事長
- 事務局長
山口タカ
や組 代表
「オーガニック電話帳」
「家庭の食育」編集人
- 専門部会
●野菜部会 ●穀物部会
●加工部会 ●認証部会 ●流通部会
●マーケティング部会
●広報・PR部会
●イベント部会 非食品部会
(コットン・コスメ・エコロジーほか)
●教育部会 ●山里海連携部会
●調理人育成部会 外食・
レストラン・ホテル部会
●食育推進部会 ●アスリート部会
●オリンピック&パラリンピック部会
●[ovj]press 編集部 ほか
- アドバイザー
桂川保彦
帝京平成大学客員教授
原 耕造
NPO法人 生物多様性農業
支援センター 理事長
西邨マユミ
マクロビオティックコーチ/
パーソナルシェフ/料理活動家



- *OVJの活動や入会、
協賛金にまつわるお問い合わせは、
以下までご連絡ください。
- 本部
〒104-0031
東京都中央区京橋 3-5-3
竹河岸ビル 3F JONA 内
TEL:03-3538-1851
FAX:03-3538-1852
- 運営事務局 [ovj]press 編集部
〒104-0052
東京都中央区月島 1-21-12
TEL:03-6225-0613
FAX:03-3532-0463
Email:info@ovj.jp
URL:www.ovj.jp

美しい日本の環境循環社会の再生と実現をめざして

日本の美しさ—その礎をなしていたのが四季と織りなす豊かな山里海であり、あらゆる要素が人の暮らしと共生し合う環境循環社会の存在でした。しかし戦後の経済発展にともない、国土のいたるところで工業化が進み、当たり前にあった日本の環境循環社会は大きく損なわれてしまいました。

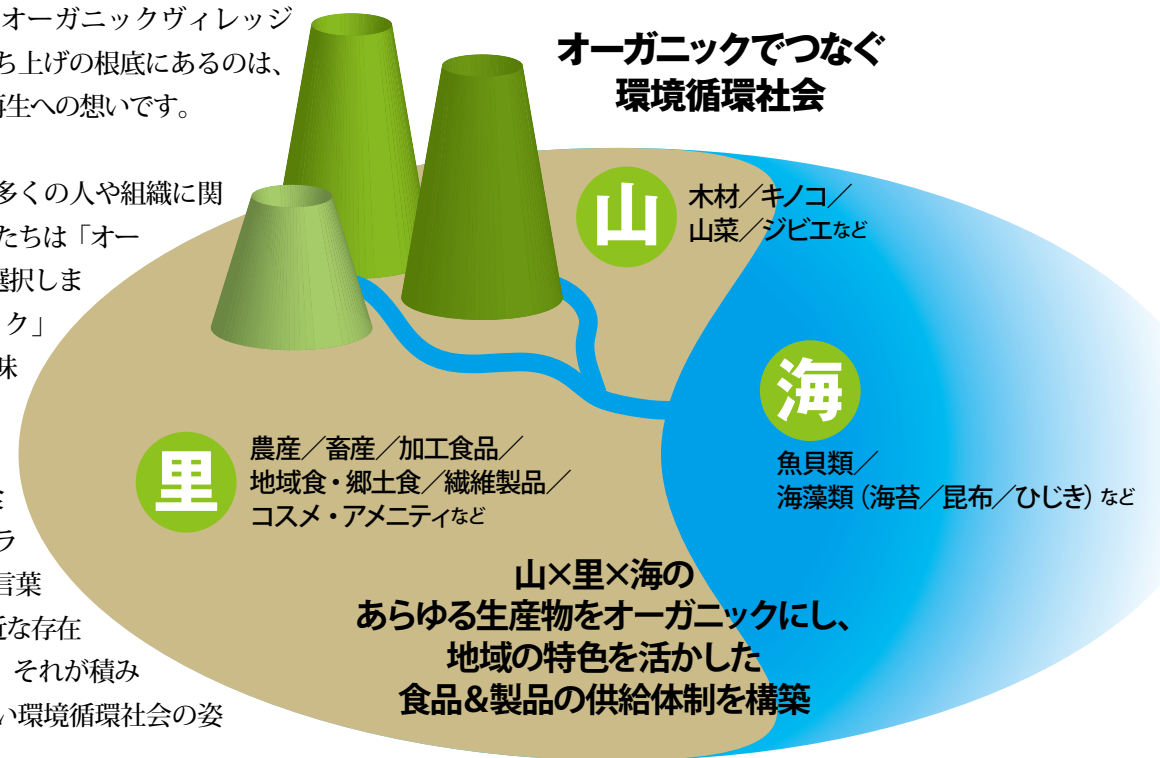
その現状を憂い、かつて存在した生命の共生の形を再生し、次世代につなぐ—私たちオーガニックヴィレッジジャパン（以下 OVJ）立ち上げの根底にあるのは、そうした日本の美しさの再生への想いです。

その活動にひとりでも多くの人や組織に関わっていただくために、私たちは「オーガニック」という手段を選択しました。今や「オーガニック」は有機という法制上の意味だけでなく、「オーガニックライフ」や「オーガニックスタイル」など、衣食住あらゆる要素を含んだライフスタイル全般を指す言葉として、日本国内でも身近な存在になっています。そして、それが積み重ねられた先には、新しい環境循環社会の姿があると考えています。

幸い、2013年には和食がユネスコの無形文化遺産に認定、2014年には東京オリンピックの2020年開催が決まりました。そんな世界中から日本の価値に注目が集まっている今、まさに、日本の持つ本当の価値を国際社会に認知・浸透させるべく、美しい環境循環社会を再生するための行動をはじめ絶好のタイミングだと考えます。そして、それをより多くの人や組

織の日常から実現につなげるために、私たち OVJ は「オーガニック」をキーワードに、さまざまな活動を展開していきます。

一般社団法人 オーガニックヴィレッジジャパン
会長 服部幸應



オーガニックについて

「オーガニック（有機）」を、私たちは JAS 法の範囲に限定しません。オーガニックはライフスタイルを表現する言葉でもあると考えます。それは循環を基調として地球環境、生態系にとって持続可能であり、身も心もすこやかにするものであること。そして生産履歴の情報開示など、情報の透明性が確立されている衣食住にわたるものを私たちはオーガニックと考えます。

●オーガニックヴィレッジジャパンの活動ビジョン

日本のオーガニックの「THINK & DO TUNK」となって、オーガニック業界を中心としたムーブメントを起こし、市場を活性化します。そして、世界に通じるジャパンオーガニックブランドの形成をめざします。



OVJ が目指すのは、山×里×海、あらゆる生産物をオーガニックにするだけでなく、地域の特色を生かした食品や製品の生産を促進。それが全国各地で誰もが手に入りやすくなるためのインフラ整備です。

- ①オーガニックのポータルサイトを含む専門流通市場
 - ②オーガニックの調査、研究機関となる大学や研究所
 - ③国内外の情報を収集、発信するメディア
- などを創設するところまで想定しています。

その中核となる第1期プロジェクトが、「オリンピック&パラリンピックの選手村とキャンプ地をオーガニックにしよう！」キャンペーンです。

全国各地のキャンプ地(＋候補地)をオーガニック生産地にすることで、地方のブランド化を推進。各地で生産された食材、食品をキャンプ地同士や選手村、ホテル、レストランへ供給します。

そして、開催後もオーガニックがその地域に定着し、活性化を支えるために、地域に貢献する人材育成をはじめ、後世を担う子どもたちへの食育活動を展開していきます。具体的には

- ④OVJオープンセミナー
- ⑤OVJ通信教育講座
- ⑥バイオホテル&レストラン認定基準

●オーガニックヴィレッジジャパン第1期プロジェクト

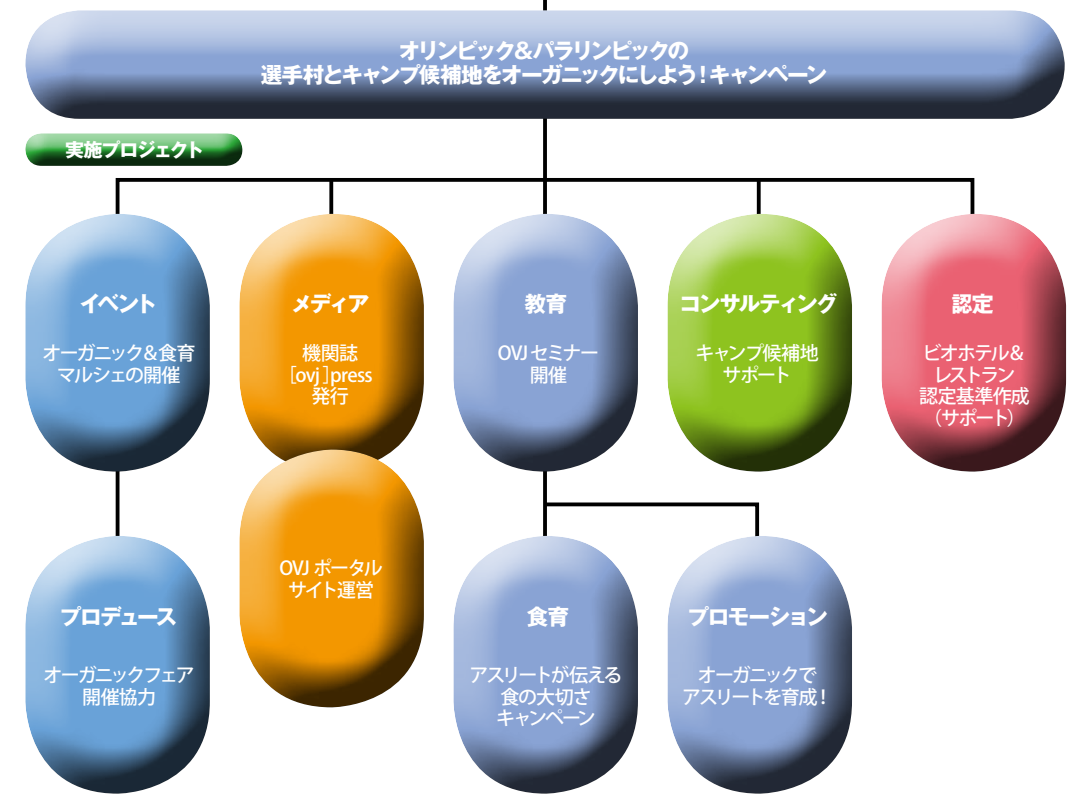
2020年東京オリンピック&パラリンピックを契機に、オーガニック、食育、スポーツを結びつけた新機軸の持続可能な地域活性化活動を推進します。2020年に向けて地域のオーガニック化を進め、オリンピック&パラリンピック終了後はさらに定着化が進みます。

日本のオーガニック市場



OVJ事務局

第一期プロジェクトテーマ



- ⑦アスリートが子どもたちに伝える食の大切さと食べ方
 - ⑧オーガニックでアスリートを育てる
 - ⑨学べる「食育マルシェ」
- などを企画、運営します。そして、それ以外にも様々な活動を通じて、オーガニックマーケットの専門分野と一般消費者へ、つねにアプローチしていきます。